

## 寄附趣意書

～沖縄の子どもの貧困問題に取り組むボランティア学生の活動支援～

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄

代表理事 西田 睦

子どもの居場所学生ボランティアセンター

センター長 本村 真

沖縄の子ども達を取り巻く環境は全国の中でも極めて深刻とされ、沖縄県が平成 27 年度実施した実態調査において、全国平均の 3 倍、子どもの 3 人に 1 人が貧困状態にあるとされています。その課題へ対応するため、内閣府及び沖縄県によるご支援をいただき、沖縄子供の貧困緊急対策事業の一環として、平成 28 年 4 月に一般社団法人大学コンソーシアム沖縄に、「子どもの居場所学生ボランティアセンター」を設置しました。

本センターでは、貧困の状況にある子ども達が利用する子どもの居場所において、沖縄県内の大学生等が自発的な意志に基づき学習支援等の活動を円滑に行えるよう、ボランティア学生の派遣に関するコーディネート業務を行っています。

派遣されるボランティア学生は、子ども達と年齢の近い身近な「お兄さん、お姉さん」的な存在となり、子どもたちに精神的な面で安心感を与え、一人一人の子どものその時々の実情に沿った寄り添い型のサポートを提供することによって、子どもの自己肯定感が醸成され、学習意欲や生活リズムの向上が図られるとともに、学校生活や社会における種々の活動への参加意欲が高まるなどの効果が期待されます。これが、ボランティア学生が本事業に参加する意義です。

しかしながら、本事業におけるボランティア学生の活動については、事業予算の趣旨から謝金の支出が困難であります。派遣されるボランティア学生は経済的に苦しい学生が多いことから、県民の皆様からのご寄附によりいくらかの謝金を支払うことができれば、ボランティア学生の活動が広がり継続していくものと考えます。

つきましては、本趣意にご賛同いただき、本事業におけるボランティア学生の意義をご理解の上、学生の活動支援としてご寄附を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご寄附いただいた皆様のご芳名などにつきましては、本センターのホームページ等において掲載し、公表する予定です。